

胆道閉鎖症

肝臓で作られた胆汁が腸管へ流れない病気です。生後 1 か月を過ぎても皮膚や白目が黄色っぽい（黄疸の遷延）や白っぽいうんち（灰白便）が続く場合は早めに小児医療機関を受診してください。

うんちの色に関しては以下のようなカラーカードで 1~3 番が続く場合を受診の目安にしてください。胆道閉鎖症と診断された場合、薬での治療法はなく手術（葛西手術）が必要になります。

参考 便カラーカード

うんちの色に注意しましょう
明るいところでカードの色と見比べてください。

1番～3番に近い色だと思おう
4番～7番だったのが**1番～3番**に近くなった

どちらかが当てはまるときは、**胆道閉鎖症**などの病気の可能性がありますので、1日も早く小児科医、小児外科医等の診察を受けてください。

便色の記入欄（観察日とお腹に当てはまる色番を）

生後2週			
年	月	日	番

生後1か月			
年	月	日	番

生後1～4か月			
年	月	日	番

生後4か月くらいまでは、うんちの色に注意が必要です。生後2週を過ぎても皮膚や白目（しろめ）が黄色い場合、おしっこが濃い黄色の場合にも、すぐに医師等に相談しましょう。